

実践報告Ⅱのまとめ 1

現任研修 = 地域を基盤としたソーシャルワーカーとしての価値の再確認

展開

<p>意思決定支援 個別支援に基づく視点</p>	<p>・相談支援の「基本姿勢」を再確認～日頃の自分を振り返る機会～ → 本人の意思決定や自己決定に向けた支援への取り組みの確認 そのために→ 丁寧なアセスメントの大切さの理解 それにより = 多面的・俯瞰的な視点による気づきへ</p>
<p>多職種連携 福祉コミュニティとしての 地域づくりの視点</p>	<p>・相談支援専門員に求められる連携(調整・協働・チームアプローチ) → チームアプローチ～相談支援専門員は利用者支援を軸にしなが ら、事業所組織や支援者、多職種・関係機関、地域コミュニ ティと関わる。～本人を取り巻く環境から気づきを～</p>
<p>人材育成 地域を作る相談支援 本人の視点に立った地 域アセスメントと地域課 題を協議会で検討</p>	<p>・コミュニティワークとグループスーパービジョン ○相談者からみた地域の状況(地域変革のためのヒアリングシート) → 生活者としての視点から地域を見つめる = 何がある? どうできる? ○実践事例を活用した実際の指導や助言を受ける → 自分の(個別)支援が地域支援を展開し個別課題から地域課題 へと普遍化されることを捉える。(協議会活用・アイデア)</p>

